



～感謝の言葉 トリプル3!～

「ありがとう」「うれしい」「助かる」。感謝の言葉は、相手の行為を認めていますよというサインです。

子どもたちは「私もやりたい」のチャレンジ精神いっぱいです。お手伝いはやってほしいけど、時には自分でやってしまった方が早いのにと思う時もありますよね。そんなときには感謝の言葉をつけてから、これくらいだったらやってもらっても良いなあと思う行動を具体的に伝えてあげてください。「お手伝いしてくれるの？うれしいな」「お母さんは洗い物をするからお皿を持ってきてくれる？」「ありがとう、ママが洗濯物をたたむからハンカチのお山とお山を合わせてたたんでくれる？」など親が邪魔だと思わない程度の手伝いをしてもらうことで、子どもは役に立っていると感じ、また協力しようと思います。小さいことだと感じますが、子どもは認められたことでやる気の芽がどんどん伸びていきます。そのやる気の芽は成長と共に勇気（困難を克服する力）になっていきます。

参考文献 『アドラー心理学 人生を変える思考スイッチの切り替え方』 監修 八巻 秀 （株）ナツメ社

引用文献 『男の子の育て方』 諸富祥彦 著 WAVE 出版

